2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
生理系分野	小児病態学特論Ⅰ・Ⅲ	榎 日出夫

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択	特論Ⅰ：4（2/年）, 特論Ⅲ：1/年	

目的

小児疾患の病態解明を目的として，基礎ばかりでなく臨床現場における疑問点を抽出し，これを解明するために必要な実験計画や臨床研究計画の立案と評価をする。

授業到達目標

（1）小児疾患の病態・診療における疑問点を抽出できる。
（2）エビデンスの集積ができる。
（3）エビデンスの評価ができる。
（4）研究計画の立案ができる。
（5）研究データの評価ができる。
（6）研究データに基づいて研究計画の改善ができる。
（7）自分の意見を他の参加者に要領よく伝達できる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎月	第 2・4 火	15:30-16:30	三浦 真澄 加藤　敦	講義	[抄読会]	新生児学の英文論文を紹介し，それに対する考察・討議を展開する。 [場所:NICU]
2	毎週	火	16:30-17:00	三浦 真澄 加藤　敦	講義	[症例検討会]	周産期カンファレンス （産科学合同症例検討会） [場所:12 階中カンファレンス室]
3	毎週	金	13:00-14:30	榎 日出夫 栄徳 隆裕 三浦 真澄 加藤　敦	講義	[研究検討会]	学生は小児疾患の病態や診療における不明点を討議し，解決に必要な研究を立案する。 また進行中の研究成果を評価し，改善する。 [場所:12 階中カンファレンス室]

評価方法

【特論Ⅰ】
（1）1年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1）1年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。
※１～３年生は２月末まで，４年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

紹介論文の要約について，添削して返却しフィードバックする。

教科書

ISBN-999612018X, Nelson textbook of pediatrics, [edited by] Robert M. Kliegman ... [et al.], Elsevier, 2020
ISBN-9784260036252, 新生児学入門（第 5 版）, 仁志田　博司, 医学書院, 2018

参考書

ISBN-9780323482554, Mandell, Douglas, and Bennett's Principles and Practice of Infectious Diseases ＜2 volume set＞（9th Edition）, John E. Bennett, et al., ELSEVIER, 2019
ISBN-9780323376921, Feigin and Cherry's textbook of pediatric infectious diseases, [edited by] James D. Cherry ... [et al.], Elsevier, 2019

準備学習（予習・復習等）

（1）毎回病棟回診で提示される症例に関連する疾患を Web，教科書，参考書で調べる（30 分～1 時間程度）。
（2）各検討会や抄読会で提示される小児疾患の病態，診療における留意事項を Web，教科書，参考書で事前に調べる（30 分～1 時間程度）。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

関連する課題を探求し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論・思考法を習熟する。

注意事項・メッセージ

代表的な基礎的および臨床的英文論文を読む習慣を身につけてください。